

## 点検・評価報告書（医学部）

### 基準 1 理念・目的

#### 1 現状分析

##### 点検・評価項目①

大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。

<評価の視点>

- ・大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。
- ・理念・目的を教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。

① 学部等ホームページに、以下の項目を掲載し、社会に公表していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科ごとの教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。  
 一部の項目を掲載していない。  
 その他回答

② 履修要覧に、以下の項目を掲載し、学生に周知していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科の教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。  
 一部の項目を掲載していない。  
 その他回答

#### 2 長所・特色・問題点

なし

### 基準 2 内部質保証

#### 1 現状分析

##### 点検・評価項目①

内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。

<評価の視点>

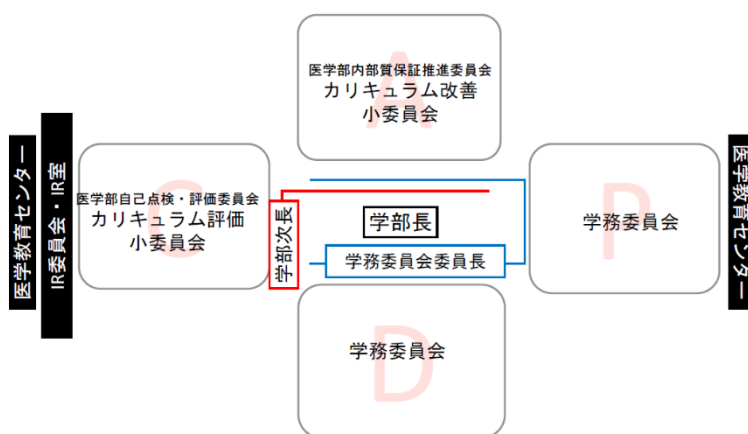
- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。
- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。

③ 学部等において、PDCAサイクルをどのように機能させているか、内部質保証体制（内部質保証推進委員会、自己点検・評価委員会、各委員会組織、教授会、執行部会等の役割や関係性）や、活動内容について記述してください。

本学部学務委員会は、カリキュラム（教育課程）の企画立案に際し、本部学務委員会で策定される事項や文部科学省から発出されている「医学教育モデル・コア・カリキュラム」を遵守、整合性を図りながら、教育目標の達成を目指し社会情勢の変化等をカリキュラムに反映させ、推進させていく役割を担う。本学部学務委員会にはカリキュラム、FDをはじめとする学事事項の領域を担当する小委員会があり、カリキュラムの構成に応じて設置・改廃を柔軟に行っている。現在は12の小委員会を設置しており、学年別教育カリキュラムの編成、国家試験及び共用試験への対応など個別の案件を担当し、科目責任者との協議を重ねながら、授業内容と担当教員の適合性にも配慮しつつ、カリキュラムの調整を行っている。必要に応じて、小委員会の下に作業部会を設置している。

教学に関する事項については、作業部会、小委員会、本学部学務委員会での問題提起、意見交換、調整等後、教授会での審議を経て承認・実行される。各小委員会は、各担当カリキュラムについて、特定の学系分野における個別の方針よりも優位であり、行政当局の管轄権などで定められている規約や本学の管理運営の範囲内において、カリキュラムを策定できる。

### 教学に関する内部質保証体制



④ 三つの方針について、どの組織が、どのように検証しているか記述してください。

本学部のディプロマ・ポリシーは、本学の教育理念である「自主創造」を構成する3つのカ

テゴリーである「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」を含み、生涯学習への意識と学修技能を修得することを目指している。DP8には「省察力」として「生涯にわたり、患者の安全を基盤に医療の質を担保し、謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて基礎・臨床・社会医学領域において自己を高めることができる。(自律的学習能力・医療の質と安全管理・生涯にわたって共に学ぶ姿勢)」を明記している。

医学部自己点検・評価委員会カリキュラム評価小委員会で、CPとDPがカリキュラムや教育理念との整合性をチェックする。

不整合があれば、医学部内部質保証推進委員会カリキュラム改善小委員会では是正する案を検討し、上位委員会へ上程していく。医学部内部質保証推進委員会を中心として、社会からの要請に対応して、学習成果に適宜変更を加える。

⑤ 外部評価を実施(令和3年度から令和5年度までの期間)している場合、点検・評価項目を記述してください。

令和4年度に日本医学教育評価機構による「医学教育分野別評価」を受審している。また、公的化された共用試験のCBTとOSCEでは、医療系大学間共用試験実施評価機構から外部評価者として、全体の監督者と各セクションの評価者を受け入れている。

また、医学部自己点検・評価委員会カリキュラム評価小委員会及び医学部内部質保証推進委員会カリキュラム改善小委員会において、外部評価者として、同僚医科大学の教授及び行政機関の職員を委嘱して前述の同委員会に出席していただき、本学部の議事に関して、その審議過程、承認内容等に意見等を述べてもらっている。

⑥ 外部評価の結果、改善・向上に取り組んだ事項について記述してください。

カリキュラムの企画立案と実行を担う学務委員会から評価に関する機能を分離し、令和4年に医学部自己点検・評価委員会にカリキュラム評価小委員会を設置した。また、同様に医学部内部質保証推進委員会にカリキュラム改善小委員会を設置した。これにより、学務委員会が企画立案(Plan)と実行(Do)を、カリキュラム評価小委員会が評価(Check)を、カリキュラム改善小委員会が改善(Action)を担う組織として整備された。また、こうしたPDCAサイクルの実効性を高めるため、IR委員会とIR室が設置された。

外部評価者からは、本学部で策定する内容におおむね賛同を得ている。

⑦ 今後、外部評価、分野別評価、法科大学院認証評価、JABEE認定を受審する予定があれば記述してください。

令和4年度に日本医学教育評価機構による「医学教育分野別評価」を受審した結果、「期限付認定」の評価であったため、令和7年度に評価申請し受審の予定である。

⑧ 教育の質の向上を図るために、学生からの意見を取り入れていますか。取り入れている場合は、その内容を具体的に記述してください。

- ・授業評価アンケートを実施している。
- ・学生が学部等の委員会等に参加している(学務委員会、学生生活委員会、医学部内部質保証推進委員会カリキュラム改善小委員会合同会議、医学部自己点検・評価委員会カリキュラム評価小委員会合同会議、ダイバーシティ推進委員会)。他にも、教員学生懇談会やクラス連絡小委員会があり、学生の意見を収集するよう制度を整えている。

### 点検・評価項目②

大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。

<評価の視点>

- ・教育研究活動，自己点検・評価結果，財務，その他の諸活動の状況等を適切に公表し，社会に対する説明責任を果たしているか。
- ・教育研究活動の情報として，学生の学習実態，学習上の成果に関わる情報を社会に分かりやすく公表しているか。

⑨ 学部等ホームページに公表している学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に定める以下の教育情報は，最新の情報に更新されていますか。

- (1) 教育研究上の目的
- (2) 教育研究上の基本組織
- (3) 卒業の認定に関する方針
- (4) 教育課程の編成及び実施に関する方針
- (5) 入学者の受入れに関する方針
- (6) 教員組織，教員の数並びに各教員が有する学位及び業績
- (7) 入学者の数，収容定員及び在学する学生の数
- (8) 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況
- (9) 授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画
- (10) 成績評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準
- (11) 校地，校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境
- (12) 授業料，入学料その他の大学が徴収する費用
- (13) 修学支援，生活支援，進路支援その他の学生支援

[自己評価]

- 全ての項目が更新されている。  
 一部の項目が更新されていない。  
 その他回答

### 点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

<評価の視点>

- ・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑩ 学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

本学部入学者選抜は、学校推薦型選抜と一般選抜に大別される。学校推薦型選抜は、いわゆる年内入試で付属高等学校と地域枠に特化した公募制を実施してきたが、令和7年度入学者選抜から、新たに学校推薦型選抜（公募制）を導入した。一方、一般選抜は、従来どおり、N全学統一方式に二次選考を組み合わせた選抜方法を2月の第1期、3月の第2期として実施している。また、校友子女選抜、地域枠選抜も第1期の日程で実施している。

## 2 長所・特色・問題点

### 【長所・特色】

令和4年度には、学務委員会は教育カリキュラムの改善を計画（Plan）し、実行（Do）する機能に限定した。また、評価（Check）の役割を担うべく、医学部自己点検・評価委員会の下にカリキュラム評価小委員会を設置した。加えて、改善（Action）の役割を担うべく、医学部内部質保証推進委員会の下にカリキュラム改善小委員会を設置した。そのため現時点では、PDCAサイクルを担う組織がようやく整備されたといえる。

## 基準3 教育研究組織

### 1 現状分析

#### 点検・評価項目①

大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。

<評価の視点>

- ・大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮した上で、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。

#### 点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑫ 学問の動向や社会的要請等に対応すべく、学科や研究所の新設、学科の改組等、教育研究組織の見直しについて、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

教育研究組織が、社会からの要請に即応できる組織であるかの点検・評価や、その活性化を図る方策の立案については、企画・広報委員会を中心に学務委員会、研究委員会等の関係委員会が対応している。また、組織の妥当性の検証に関連する個別の問題に対しては、医学部長から諮問がなされ、必要に応じて専門委員会を設置して検討を重ねた上で、学部の意思決定機関である教授会での審議を経て、答申に基づく施策が実行に移されている。事例として、令和3

年4月に医学部長から研究担当に対して、本学部の研究力をこれまで以上に社会に発信すべく、付置研究所の設置等を含めた今後の在り方についての諮問がなされ、令和4年2月に医学部トランスレーショナルリサーチセンター設置の答申があり、同年3月に日本大学医学部トランスレーショナルリサーチセンターが設置された。また現在、今後の研究支援の在り方について、医学研究支援部門運営協議会において検討を進めている。

## 2 長所・特色・問題点

なし

### 基準4 教育・学習

#### 1 現状分析

##### 点検・評価項目①

達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示していること。

<評価の視点>

- ・卒業の認定に関する方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成及び実施に関する方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。
- ・上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。

#### [卒業の認定に関する方針について] (学士課程)

⑬ 授与する学位ごとに定めていますか。

[自己評価]

- 定めている。
- 定めていない。
- その他回答

⑭ 日本大学教育憲章の「自主創造」の8つの能力との関連性が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

⑮ 「学生が修得すべき知識」、「技能」、「態度」等、当該学位にふさわしい学習成果を示していますか。

[自己評価]

- 示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

⑯ 能力（コンピテンシー）の表現は、「～できる」又は「～を身に付ける」に統一されていますか。

[自己評価]

統一されている。

見直す必要がある。

その他回答

⑰ 「何ができるようになるか」に力点を置き、学生が身に付けるべき資質、能力の目標（学修成果）が明確化されていますか。

[自己評価]

明確化されている。

見直す必要がある。

その他回答

⑱ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

なっている。

見直す必要がある。

その他回答

#### [教育課程の編成及び実施に関する方針について]（学士課程）

⑲ 授与する学位ごとに定めていますか。

[自己評価]

定めている。

定めていない。

その他回答

⑳ 卒業の認定に関する方針との関連性が明確ですか。

[自己評価]

明確である。

見直す必要がある。

その他回答

㉑ 卒業の認定に関する方針に基づき、「教育課程の体系」、「教育内容」、「教育課程を構成する授業科目区分」、「授業形態」、「学修成果の評価」を示していますか。

[自己評価]

示している

見直す必要がある

その他回答

㉒ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

- なっている。  
見直す必要がある。  
その他回答

#### 点検・評価項目②

学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。

<評価の視点>

- ・学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成及び実施に関する方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

⑩ 各授業科目は、授与する学位（又は、課程・専攻）と整合していますか。

[自己評価]

- 整合している。  
見直す必要がある。  
その他回答

⑪ 各授業科目は、体系的に編成されていますか。

[自己評価]

- 編成されている。  
見直す必要がある。  
その他回答

⑫ 各授業科目の到達目標が、シラバスに明示されていますか。

[自己評価]

- 明示されている。  
見直す必要がある。  
その他回答

⑬ 各授業科目は、学習時間を考慮し、授業期間及び単位が設定されていますか。

[自己評価]

- 設定されている。  
見直す必要がある。  
その他回答

#### 点検・評価項目③

課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

<評価の視点>

- ・授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び

教育課程の編成及び実施に関する方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。

- ・授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。

③④ 学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性を踏まえた対応をしていますか。

[自己評価]

- 対応している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑤ シラバスは、学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容ですか。

[自己評価]

- 十分である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑥ 学生が意欲的かつ効果的に学習できるように、以下の項目について取り組んでいますか。

- (1) 授業の履修に関する指導
- (2) 学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認
- (3) 授業外学習に資するフィードバック

[自己評価]

- 全ての項目について取り組んでいる。
- 一部の項目について取り組んでいない。
- 上記以外の事項について取り組んでいる。
- その他回答

#### 点検・評価項目④

**成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。**

<評価の視点>

- ・成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。
- ・成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。
- ・既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。
- ・学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。
- ・卒業の認定に関する方針に則して、適切に学位を授与しているか。

③⑦ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑧ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

③⑨ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を、客観的かつ厳格で、公正、公平に行っていますか。

[自己評価]

- 行っている。
- 見直す必要がある。
- その他回答

④⑩ 学位授与における実施手続及び体制が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

#### 点検・評価項目⑤

卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

<評価の視点>

- ・ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。
- ・ 学習成果を把握・評価する指標や方法は、卒業の認定に関する方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。
- ・ 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、学部として設定する目的に応じた活用を図っているか。

④⑩ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法について記述してください。

学年進級制をとっているため、各学年での条件がある。一般教養、基礎医学、社会医学及び臨床医学と学習を進めていく上で、当該学年で修得すべき科目や試験及びC B T・O S C Eの結果が重要とされている。学年ごとの進級会議によって、学生の修得状況を把握することができる。

④ 上記指標や方法を用いて把握・評価した学習成果を、学部等でどのように活用しているか記述してください。

成績不振者に対しては、基準によって面接や指導が行われている。また、学務委員会を中心に年度ごとの分析や傾向を把握することで、次代に生かせる方策を議論している。

#### 点検・評価項目⑥

**教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。**

＜評価の視点＞

- ・教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。
- ・課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。
- ・自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。

⑤ 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等について記述してください。

カリキュラムの教育課程や学習成果について、定期的にモニターする体制は整備の途上にある。これまでは学務委員会の担当小委員会で、教育課程と学習成果を個別に分析・評価してきた。しなしながら、企画立案や実行を担っている組織が評価を行うことに問題があった。また、従来は評価時期及び評価方法等が一定ではなく、組織的な取組としては不十分であった。評価は関連部署により個別的行われ、カリキュラムに関する包括的な評価を行う制度がなかった。その後、IR委員会とIR室は設置されたが、系統的な情報収集を行うシステムは構築されておらず、今後整備していく。

⑥ 点検・評価するに当たり、学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報をどのように活用しているか記述してください。

令和4年度改訂の新カリキュラムが完成年度を迎えていないため、今後IR室を中心に必要な情報を収集して、有効かつ実効性の高い活用方法を模索していく。

⑦ 教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に当たり、自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

令和4年度より、新カリキュラムが施行され、令和6年度は3年次生まで学年進行した。一般教養にはじまり、基礎医学及び臨床医学の領域に進んだところで、卒業までの3年間は、社会医学及び臨床実習の領域を修得して完成年度を迎える。さらに、次年度には新設科目の自由選択医学研究があり、本学部の各分野で研究の一端を学修する内容となっている。この成果を含め、完成年度に点検・評価を行い、問題点等があれば、その要因等を含め検証を行い、改善を行う。

## 2 長所・特色・問題点

なし

### 基準5 学生の受け入れ

#### 1 現状分析

##### 点検・評価項目①

入学者の受け入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。

<評価の視点>

- ・入学者の受け入れに関する方針は、学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。
- ・入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。
- ・全ての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。

⑤4 入学者の受け入れに関する方針を学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定していますか。

[自己評価]

- 設定している。  
 設定していない。  
 その他回答

⑤5 入学者の受け入れに関する方針には、卒業の認定に関する方針及び教育課程の編成及び実施に関する方針を踏まえた「入学前の学習歴」、「学力水準」、「能力等の求める学生像」及び「入学希望者に求める水準等の判定方法」を志願者等に理解しやすく示していますか。

[自己評価]

- 示している。  
 見直す必要がある。  
 その他回答

⑤6 入学者選抜を、体制・仕組みに基づき公平、公正に実施していますか。

[自己評価]

- 実施している。  
 見直す必要がある。  
 その他回答

⑤7 入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。

[自己評価]

- 整備している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

### 点検・評価項目②

適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。

<評価の視点>

- ・ 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。

大学基礎データ（表2）

学部・学科等名称	入学定員充足率の5年平均 (令和2年度～令和6年度)	収容定員充足率 (令和6年度)
医学部	0.99	1.01
医学部医学科	0.99	1.01

㉞ 「大学基準協会の評価の指針」により、定員超過あるいは定員未充足の場合は、どのような対策をとっているか記述してください。

該当なし

### 点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・ 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・ 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

㉞ 学生の受け入れに関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

入試管理委員会及び教授会で、入学試験実施方法等の変更等に際し、慎重かつ十分な検討を行い、実施に至っている。今後は、IR室の充実を図り、入試から医師国家試験までの経過を系統的に分析するシステムの構築を行う。

## 2 長所・特色・問題点

なし

## 基準 6 教員・教員組織

### 1 現状分析

#### 点検・評価項目①

教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。

<評価の視点>

- ・「学部等教員組織編制方針」に基づき、教員組織を編制しているか。
  - ▶専任教員数の遵守，教員の構成
  - ▶教育効果に配慮したクラス編成，専任教員の授業負担への配慮
  - ▶教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化
  - ▶教員の資質向上
  - ▶その他，学部等として重視するポイント
- ・教員は職員と役割分担し，それぞれの責任を明確にしながらかつ協働・連携することで，組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。
- ・T A，S A又はG S Aを置いている場合，ガイダンスや研修を実施した上で業務をさせているか。

(学士課程)

⑥0 学部・各学科における専任教員数は，設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての学科において満たしている。
- 一部の学科において満たしていない。
- その他回答

(学士課程)

⑥1 学部・各学科における教授数は，設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての学科において満たしている。
- 一部の学科において満たしていない。
- その他回答

⑥7 特定の教員に過度な授業負担が生じないように，どのように配慮しているか記述してください。

教育・診療・研究をバランスよく行えるようエフォート調査を行っている。

⑥8 教育研究活動を実現するために，教員と職員とがどのように役割分担をし，それぞれの責任を明確にし，協働・連携しているか記述してください。

教職協働を前提としつつ、規程等に関わる調整は主に職員が、学生への教育・研究内容の策定は主に教員が担当し、制度設計においては双方で密に連携し、関連委員会等での調整を経て決定することで、責任の明確化を図っている。

⑥9 TA, SA又はGSAを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

なし

## 点検・評価項目②

### 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。

#### <評価の視点>

- ・教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。
- ・年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。

⑦0 教員を採用するに当たり、どのような方法（公募等）で募集しているか記述してください。

教授及び准教授については、教授会で選出された教授7名（准教授選考は5名）による選考委員会を立ち上げ、公募文書に選考水準を明記し広く公募により候補者を募っている。

助教及び助手については、「日本大学医学部助教・助手選考基準」に従い、所属長が助教又は助手採用が最適であると認めた者を採用している。

⑦1 「教員の募集」、「教員の採用」及び「教員の昇任」について、明文化された基準及び手続に従い公正に行っていますか。

[自己評価]

公正に行っている。

基準や手続き方法を見直す必要がある。

その他回答

⑦2 教員の年齢構成に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

令和5年度から「日本大学任期制教員規程」による任期制教員の対象として、医学部における教員の適用拡大が認められ、現在までに10名の任期制准教授を任用した。この効果として、医療人材流出の回避・抑制、若手教員のモチベーション向上、人件費負担の軽減が表れ始めており、今後も積極的に任期制教授、任期制准教授の任用を活用し、若手医師の確保を行っていく。

⑦3 教員の男女比に著しい偏りがないように、どのように取り組んでいるか記述してください。

令和6年9月現在の女性教員比率は20.9%である。女性教員数はまだ十分とはいえ、女性研究者を育成するための活動が必要と考えている。平成27年に「日本大学医学部におけるライフイベントに対応した研究支援取扱要項」が制定されており、出産・育児・介護等に直面した

研究者を、研究活動の継続及びライフワークバランスを両立できるように研究支援者を配置し、研究活動の継続をする取組が行われているほか、令和5年度設置されたダイバーシティ推進委員会からの要望を受け、医師の短時間勤務制度などの検討を行っている。男女の区別なく、全ての教職員が働きやすい環境整備を引き続き行っていく。

### 点検・評価項目③

**教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取組を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。**

<評価の視点>

- ・教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取組を行い、成果を得ているか。
- ・教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取組を行い、成果を得ているか。
- ・大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し、教育活動、研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。

⑤ 教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるために、どの組織が、どのように取り組み、その結果どのような成果を得ているか記述してください。

全ての新任教員に対してFDワークショップを開催し、アウトカム基盤型教育、アクティブラーニング等、医学教育の基礎について講習を行っている。

共用試験OSCEの公的化に伴い、臨床教員全員に対し、医学生共用試験評価者認定講習会を受講し、認定評価者の資格取得を推奨している。資格取得済みの教員が学生を指導することで、より効果的な教育の実現が期待できる。

⑥ 教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、どの組織が、どのように取り組み、その結果どのような成果を得ているか記述してください。

教員の研究活動や社会貢献等の諸活動は、学会での発表及び論文発表が中心であるため、研究委員会において、教室研究費の後期配分の傾斜配分の算定に、Impact Factor 値とその学術雑誌への掲載論文数のスコアを関連させることで、学術雑誌への掲載の意識付けを行っている。また、平成27年度から英文業績を集計したResearch Reportを作成しており、優秀論文の表彰や集計結果をホームページで公開することで、本学部における研究の活性を図っている。

⑦ 教員の教育活動、研究活動、社会活動等に関する業績について、どの組織が、どのように評価しているか記述してください。

教員個人の教育、研究、診療（社会貢献）活動のエフォートバランスについては、所属する教員間で均等になるように、所属長が調整する仕組みとなっているが、令和4年度に受審した日本医学教育評価機構（JACME）による国際基準を踏まえた医学教育分野別評価の評価報告書で、『教員の教育・研究・診療の職務間のバランスを考慮するためのエフォート配分を定めるべきである。』と改善のための助言を受けた。このため、企画・広報委員会で検討し、教員活動のエフォート率の明確化と同活動についての業績評価が行えるように、令和6年度から教員

評価シートの運用を開始した。令和6年度中にシステムでの運用を行う予定である。また、集計したエフォート率や業績評価を行うプロセスについては、今後の検討課題である。

#### 点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

㊦ 教員組織に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

庶務課と教務課で教育・研究・診療に対応するための必要な教員数と長期計画を見越した「教員配置計画」を作成している。ここ数年間は、教員配置数と採用実績に乖離があり、配置数を満たしていなかった。そのため、企画・広報委員会で教員配置について検討し、教授会の議を経た結果、医学部執行部と病院長が中心となり、教員配置計画数である430名を充足できるような体制を整えている最中である。具体的には、各学系分野の固定定員枠とは別に、医学部長が特に必要と認めた教員を配置できる強化定員を設け、医学部及び附属病院で教育・研究・診療で重点を置くべき分野に教員を配置する予定である。教員数を確保することで、医学教育の質向上や臨床教育の充実、研究活動の強化だけでなく、附属病院の財政面の改善も期待される。

また、令和4年度の全学自己点検・評価で改善事項として挙げられた教員活動のモニタリングと評価制度についても、上述のとおり企画・広報委員会で検討し、令和6年度から教員評価システムを導入し、教員活動のエフォート率については、全専任教員分を集計した。教員活動のモニタリングや定期的な評価を継続的に行うことで、各学系分野の所属長の裁量で行われていた教員活動が平準化され、公平性と透明性が担保された教員評価制度が確立されると見込まれるが、集計したエフォート率や業績評価を行うプロセスについては、今後の検討課題である。

## 2 長所・特色・問題点

なし

### 基準7 学生支援

#### 1 現状分析

#### 点検・評価項目①

学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関する大学としての方針に基づき、各種の学生支援体制を整備し、教員と職員

がそれぞれ役割を果たしながら支援を行っているか。

- ・各種の学生支援に当たり、専門的な知識・能力や経験を有する者を含む必要なスタッフを配置しているか。
- ・学生支援に関する情報を学生に積極的に提供するとともに、その支援は学生の利用しやすさに配慮しているか。

[修学支援（学習面）]

- ・学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか（補習教育，補充教育，学習に関わる相談等）。
- ・障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。
- ・学習の継続に困難を抱える学生（留年者，退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応しているか。

[修学支援（経済面）]

- ・学生に対する経済的支援（授業料減免，学内外の奨学金を通じた支援等）を、学生の実態等に応じて行っているか。

[生活支援]

- ・学生の心身の健康，保健衛生等に関わる指導相談を，学生の実態に応じて行っているか。
- ・学生の孤立を防止するため，人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。

[進路支援]

- ・各学位課程（学士課程，修士課程や博士課程等）や分野等における必要性，個々の学生の特性等に応じ，就職支援のほか，職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。

[その他支援]

- ・上記のほか，部活動・ボランティア活動等の正課外における学生の活動への支援等，必要に応じた支援を行っているか。

[学生の基本的人権の保障]

- ・ハラスメント防止，プライバシー権の保障や苦情申立への対応等，学生の基本的人権の保障を図る取組を行っているか。

[修学支援（学習面）]

㉑ 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるように，どのようにサポートしているか記述してください（補習教育，補充教育，学習に関わる相談）。

学年ごとに代表担任を含め5名の担任を配置し，それぞれの学年で学習のサポートを行っている。また，OSCE，CBT，最終的に医師国家試験対策の一環として，学業成績が下位の者に対し，面談や講義を実施することにより，学年全体の学力の向上を図っている。さらにグループ学習を推奨し，グループで勉強する部屋を用意し，学生同士切磋琢磨できる環境を整え孤立して悩むことのないようにしている。

㉒ 留年者について，どのように状況を把握し，どのように対応しているか記述してください。

各学年担任が面談を実施し、生活状況や学習の進捗を把握するとともに、適宜学習の指導をしている。

㉑ 退学希望者について、どのように状況を把握し、どのように対応しているか記述してください。

退学希望を申し出た学生に対しては、まずは各学年担任による面談を行い、学習や生活についてのアドバイスが受けられる体制を整えている。

㉒ 留年者や退学希望者の減少に向けて、どのように取り組んでいるか記述してください。

成績不振者や留年者に対しては、各学年担任が面談を実施し、情報共有すべき案件は学生担当や学生生活委員会で報告することで、様々な学生の状況に対し、多角的にアプローチできる体制になっている。

成績不振者や留年者が多い場合は、学生に原因がある以外に、カリキュラム、評価方法及び教員に原因がある可能性も考慮し、調査を行った上で、カリキュラムや評価方法の改善や教員への指導を行っている。

#### 【修学支援（経済面）】

㉓ 学生に対して、経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援を除く）をどのように行っているか記述してください。

医師国家試験対策において非常に重要となっている全国模試の受験料や講義にかかる費用を大学で負担することで、医師国家試験へ向けて修学のサポートをしている。

#### 【生活支援】

㉔ 学生の孤立化を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）をどのように行っているか記述してください。

課外活動や各学年の委員会活動（国試対策委員会、アルバム委員会及び試験対策委員会）等を推奨し、学年を超えた関係性を構築できるような体制を構築している。

学生の自主的なグループ学習を推進するためグループ学習用の自習スペースを多数設置している。

グループ学習を行うことにより、学生同士の交流を促進し、協力し合う機会となる。学び合うことは、理解を深めるだけでなく、仲間との絆を強化することになり、孤立化の防止につながる。

#### 【進路支援】

㉕ キャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援をどのように行っているか記述してください。

病院見学の方法、履歴書の書き方や面接対策等に関する説明会を学年に応じて実施し、進路決定の一助となっている。

#### 【その他支援】

⑥ 正課外における部活動・ボランティア活動等の学生の活動について、どのように活性化を図っているか記述してください。

課外活動に資金的援助を行っている。課外活動等で優秀な成績を収めた団体や個人を調査し、その団体等に対し学部長からの激励会を開催したり、学部ホームページで発信したりすることで、活性化につなげている。

#### [学生の基本的人権の保障]

⑦ ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応等、学生の基本的人権の保障を図る取組について記述してください。

学年担任を複数名配置しており、ハラスメント等のデリケートな問題についても、学生が相談しやすい教員を選ぶことができる。また、学生支援室には担当医師がおり、専門的な視点から判断してもらうことで、必要に応じて医療機関と早期に連携する体制が整っている。他にも、保健室及び学生課による目安箱、学部長への投書箱など、多様なチャンネルを設置しており、訴えに門戸を開いている。

#### 点検・評価項目②

**学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。**

＜評価の視点＞

- ・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑧ 学生支援に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生支援に関する様々な施策については、各学年にいるクラス委員4名によるクラス連絡小委員会を定期的に開催し、共有しその内容について検証している。

学生の要望があり、自習室にPCを設置していたが、コロナ禍を経て個人でノートPCを持つことが増えたため、クラス連絡小委員会の中で検討した結果、PCを撤去する方がより広い学習スペースを確保できるとの意見があり、学生の要望のとおり撤去することとし、時代に応じて学習支援の改善が図られたと考えている。

## 2 長所・特色・問題点

### 【長所・特色】

担任制度により、一人一人の学生に対しきめ細やかな把握ができており、必要に応じて専門家に早急に連携できる体制を整えている。

学生生活委員会で決定した案件や大学からの通達等、クラス連絡小委員会を定期的に開催することで情報共有と意見交換を密に行うことができる。

学生の自治活動や課外活動を活発に行うことを推奨することで、学年を超えた関りやより多くの教員と密接な関係を築くことで学生の孤立を防ぐことができている。

## 基準 8 教育研究等環境

### 1 現状分析

#### 点検・評価項目①

**教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。**

<評価の視点>

- ・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。
- ・学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境や I C T 機器を整備し技術的な支援を行う等により、それらの活用を促進しているか。
- ・学生及び教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。

89 バリアフリーへの対応をしていますか。

[自己評価]

全ての校舎において対応している。

一部の校舎において対応していない。

現在、キャンパス整備計画が進行中であり、今後バリアフリー対応を進める予定であるため。

その他回答

90 施設、設備等の安全・衛生の確保に取り組んでいますか。

[自己評価]

全ての校舎において対応している。

一部の校舎において対応していない。

その他回答

91 施設、設備等の維持及び規定に基づいた管理をしていますか。

[自己評価]

全ての校舎において対応している。

一部の校舎において対応していない。

その他回答

92 学生や教員に対し、ネットワーク環境や I C T 機器に関する技術的な支援をどのように行っているか記述してください。

ネットワーク環境については、医学部 I T 管理委員会が組織されており、無線 LAN や Wi-Fi 環境の整備が進められている。無線アクセスポイントの増設などを実施し、ネットワーク環境の利便性の向上を図っている。

㉓ 学生の自主的な学習を促進するために、どのように環境整備をしているか記述してください。

学生の自主学習を促進するため、各教室を自習室として利用可能とし、さらにPCやプリンター及びシュレッダーを設置した自習室、個室ブースのある自習室並びにグループ学習が可能な自習室など、多様な学習スタイルに対応できる環境整備を進めている。全ての教室でWi-fi環境を整えている。

㉔ 学生に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

1年次の情報科学の授業において、SNS利用に関する注意喚起の内容を扱っている。4年次の臨床実習前の準備授業で医療情報管理についての授業を行っている。

㉕ 教職員に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

個人情報の取扱いについて、全教職員に「個人情報等データの取扱いに関する注意喚起」の文書をメールで配信し、啓発活動を行っている。

付属板橋病院では、所属する全教職員が受講必須の医療安全講習会において、個人情報保護に関する項目を設け、情報倫理の遵守を徹底している。

## 点検・評価項目②

**図書館サービス及び学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また、それらを適切に機能させていること。**

<評価の視点>

- ・図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。
- ・図書や学術情報資料の利用促進するための取組を図っているか。
- ・図書館には、学生及び教員の利用のために、必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また、図書館等の施設環境が適切であるか。

㉖ 図書や学術情報資料の利用促進のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

利用者が必要とする情報（所蔵確認・アクセス方法等）を迅速に提供するため、利用しやすいホームページの充実及びサービス向上に努めている。Webからのアクセスで利用可能な情報及び来館せずとも可能なサービスの周知をし、利用促進を図っている。

雑誌においては電子化を進め、利用状況により契約タイトルの見直しを柔軟に行っている。

㉗ 司書有資格者の人数を記載してください。

専任職員：2人、臨時職員：0人、派遣職員：0人、業務委託職員：3人

㉘ 図書館分館独自の取組について記述してください。

図書館医学部分館では、図書は医学専門書（医療・看護）を第一に収集している。医学関係資料に特化した当分館は、相互利用協力体制の一翼を担っている。

図書館医学部分館は、図書館棟の地下2階から地上2階までの4フロアで構成されており、学生の学修支援のため、開館は平日・土曜日とも午前9時から午後10時までとしている。また、館内には閲覧用座席が243席、情報検索用パソコンが9台設置され、医療に携わる学部として環境整備に努めている。

なお、令和6年度後期より2階をオープン型学習スペースとして改修し、閲覧席との調和を保ちながらも、利用者に優しい図書館となるよう充実を図る。

また、附属看護専門学校・付属板橋病院及び日本大学病院に所属する学生及び教職員に対して、サービスを提供している。

### 点検・評価項目③

**研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。**

＜評価の視点＞

- ・研究に対する大学の基本的な考えに沿って、長期的な視点に立った支援や条件整備を十分にいき、各教員の研究活動の活性化につなげているか（教員に対する研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援、若手研究者育成のための仕組みの整備等）。
- ・研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取組を行っているか。

⑨ 外部資金獲得のために、どのような学部等独自の制度や取組があるか記述してください。

研究委員会にて教室研究費の後期配分の傾斜配分の算定に、科研費の採択実績や獲得した外部資金の間接経費額を反映させている。

また、創立50周年記念研究奨励金（共同研究）、同窓会60周年記念医学奨励金等の学部研究助成を文部科学省科学研究費助成金の選考基準に合わせ、審査結果を開示することで、外部資金獲得に結び付けている。なお、文部科学省科学研究費助成金の獲得のため、外部機関による講演会及び研究計画調書のレビューサービスを実施している。

⑩ 研究時間確保や研究専念期間保障のために、どのような制度や取組があるか記述してください。

ライフイベント（出産・育児・介護等）に直面した研究者が、研究活動の継続及びライフワークバランスを両立できるよう研究支援者を配置し研究活動の継続を支援することを目的として、日本大学医学部におけるライフイベントに対応した研究支援者配置に関する要項を制定している。

⑪ 若手研究者育成のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

医学部研究助成制度である「創立50周年記念研究奨励金（共同研究）」、「萩原研究」、「小澤研究」及び「医学部同窓会60周年記念医学奨励金による研究助成」における申請資格を40歳未満とすることで、若手研究者を優先している。また、文部科学省科学研究費助成金の獲得に向けた外部機関の研究計画調書レビューサービスにおいて、若手研究を対象とすることで、研究費の獲得のみならず研究企画力の養成に努めている。

顕彰制度として、学会発表を行い受賞した学生に対して、医学部長賞（文化部門）や医学部同窓会長賞（文化部門）を与えており、本学部作成の「Research Report」掲載論文において、令和5年12月から優秀論文賞に若手部門を新設することで、若手研究者に対する研究奨励を打ち出している。

なお、令和7年度開講予定の「自由選択医学研究」にて学生全員に医学研究を体験されるコースの開設を予定している。

⑩ RAやPDを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

PDは、特定の研究プロジェクトに従事するために採用されており、そのプロジェクトの代表研究者によるガイダンス及び管理によって業務に従事している。なお、RAの採用はない。

⑪ 学生に対して、研究倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

学部学生に対して、研究倫理に関する教育として、「clinical skills training」、「自然科学実習・演習」及び「生命倫理学」を開講している。また、令和7年度開講予定の「自由選択医学研究」でも、研究倫理に関する講義を行う予定である。加えて、教授会において研究不正の報道を情報共有することで、指導教授から教室・学生指導における不正が起こらないような組織風土の涵養に努めている。

#### 点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑫ 研究等環境に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

医学研究支援部門運営協議会において、今後の研究支援体制の検討に着手している。また、共同利用環境の維持を観点に点検・評価を行い、研究所予算として研究環境の維持・向上を諮っている。また、今後の医学研究において期待される実験用ブタの飼育室を改修し、飼育頭数の増加により各研究が支障なく進めることができる環境を整備したこと、再生医学研究の主要施設であるC P F (Cell Processing Facility)の維持経費を予算化したこと等が近年の実例として挙げられる。

## 2 長所・特色・問題点

なし

## 基準 9 社会連携・社会貢献

### 1 現状分析

#### 点検・評価項目①

社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取組を実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。

<評価の視点>

- ・学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取組を行い、社会に対し周知しているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する取組により、地域や社会の課題解決等に貢献し、学部等の存在価値を高めることにつながっているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知させる取組を行っているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知するために、情報にアクセスしやすいように特設サイトを開設しているか。

[自己評価]

- 特設サイトを開設している。  
 特設サイトを開設していない。  
 その他回答

#### 点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

研究委員会及び産学連携研究推進委員会を設置し、各種施策、寄附講座の設置等について審査を行っており、学系・分野単位で支給される「教室研究費」の後期配分において、学外研究費の獲得に伴う間接経費／管理費の額を算定基準としている。また、継続した取組として、付属板橋病院事務局との連携による東京都医工連携HUB機構及び板橋区産業振興公社と共催の医工連携交流会を実施している。

入試管理委員会では、地域枠選抜入学者の医学部授業の成績評価の追跡を行い、また県の担当者と相談の上、地域・定員・選抜方法の変更を行っている。それによって県の担当者とのコミュニケーションが増え、当該学生の教育や学生生活の充実を図った。

## 2 長所・特色・問題点

### 【長所・特色】

社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対する周知において、現在、医学部HPの研究・研究所＞その他の研究活動＞国際交流・社会貢献等の概要＞研究成果の社会への還元と教職員の社会的活動にて情報を公開している。また、日本医療研究開発機構（AMED）委託事業【研究代表】ページから採択事業の特設サイトにリンクを貼っている。

### 【問題点】

医学部HPと特設サイトへ誘引するアクセスが容易とは言い難い。今後、特設サイトへの誘引も含め、ホームページにおける情報発信を工夫することが課題である。